

令和2年5月21日
気仙沼信用金庫

地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」の受賞について

気仙沼信用金庫の下記取組みが、令和元年度地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に選出され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受けました。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が、全国の金融機関等から報告された地方創生に資する取組みを評価し、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例などを表彰するもので、昨年に引き続き2年連続での表彰となります。

当金庫は、今後も地域創生に資する取組みを積極的に推進してまいります。

記

【取組みの概要】

① 「みしおね横丁」への支援

みしおね横丁は、銭湯を核に飲食店など7店舗、1施設からなるトレーラーハウスを用いた屋台村で、当金庫では、運営母体の法人化にあたり専門家を交えた支援や具体性のある事業計画の作成、円滑な資金調達を支援しました。また、各飲食店において新規創業までの各種相談対応など、当市総合計画の起業・創業支援の施策とリンクした取組みを行い、基幹産業である水産業を後押し等、地域振興を図りました。

② 「新現役交流会 2.0」の開催

新現役交流会は、大手企業のOB等である「新現役」と地域企業を結びつける人材マッチング支援の取組みであり、今回は、東日本大震災被災3県の地域金融機関25機関と国の関係省庁等が連携し、様々な課題を抱える被災3県の事業者と新現役をマッチングさせる取組みとして「新現役交流会 2.0」を開催しました。当金庫取引先から5社が参加し、各社の生産性向上と組織運営の改善など、課題解決の支援に取り組みました。

以上